

2 目標達成計画

作成日: 平成27年 3月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	(1)	重度化や看取りについては、今後、入居者や家族の思いに添えるべく、職員間での学習の機会を持つことやメンタルケア等についての考えを共有することとし、本人、家族との話し合いを持ち、段階を経た説明と確認をする機会を持つことが必要である。	死生観やメンタルケア等を職員間で学習の機会を持ちながら、入居者や家族との話し合いを持つ機会を設け、重度化や看取りについて共有を図り、不安を解消して行く。	①入居者や家族、職員で看取りの研修会を開催する。 ②入居者や家族の重度化や看取りについての意向を確認する。	6ヶ月
2	(12)	掲げている理念を職員それぞれが身近に感じ取り組むこととしておりが、帰宅時の自己点検の取り組みをもとにして職員間で話し合いを持つなどがなされていないので、共有する機会を設け、一層、実践に活かせるような取り組みが期待される。	帰宅時の自己点検の取り組みをもとにして職員間で話し合いを持つなどして、共有する機会を設け、一層、実践に活かせるような取り組む。	①理念の見直しや実践について職員研修会を開催する。 ②初歩的な言葉遣いなど接遇の研修会を開催する。	6ヶ月
3	(2)	地域との交流機会を設けているが、また少ない。	地域の方々に声をかけて、一人暮らしの方や子供たちが来てもらえるような機会を作る。	①回覧等を通じて地域の方に参加してもらう行事を開催する。 ②地元の小学校や保育園等との交流会を開催する。	6ヶ月
4	(18)	日常的に建物の中で過ごすことが多く、戸外に出る機会や屋外を散歩する機会が少ない。	建物から出て屋外を散歩したり、外出する機会を設けて一人ひとりのその日の希望に沿った支援を行う。	①朝の散歩の時間を充実させる。 ②屋外で過ごす時間を増やす。	6ヶ月
5	(9)	症状が進んで思うように自分の思いを伝えられなくなっている入居者の希望や思いを組み取れず、不快な思いをさせたり、職員の思い込みで支援してしまうことがある。	入居者の希望や今して欲しいことを理解し、入居者に居心地が良く過ごしていただく。	①カンファレンスやケース記録を通して職員間で持つ情報を共有する。 ②生活歴や日常生活様式を職員間でもう一度確認する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。